

Course number		U-LAS06 20015 SJ41					
Course title (and course title in English)		グローバル規範論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Global Ethics			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Global Environmental Studies Professor,USAMI MAKOTO
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・Second semester
Days and periods		Fri.5	Target year		All students	Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
地球環境問題・貧困問題・移民問題など、グローバルな問題がますます増加し深刻化しつつある今日、これらの問題の現状を評価し対策を提言する規範理論は、重要性をいっそう高めつつある。本ゼミナールでは、グローバルな問題とりわけ地球温暖化に応答する規範理論について、英語基本文献の輪読と、文献理解を前提にした自由討論とを行った後、国境を超える問題のなかから自由にテーマを選択して発表を行う。							
[Course objectives]							
本科目の到達目標は、グローバルな問題に関して、規範的な分析力・構想力を習得することにある。							
[Course schedule and contents)]							
前半では、気候の正義と呼ばれる、地球温暖化問題をめぐる正義に関する研究を取り上げる。英語基本文献の内容を履修者間で分担して報告した上で、それに基づいて自由討論を行う。							
後半では、気候の正義を含めた越境的問題について、自由テーマ発表と質疑応答を行う。							
その他、ディベート大会、ロール・プレイング・ゲーム等を行う可能性もある。							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
座席表を作成した上で、報告・発表時の配布資料および口頭発表の内容と、自由討論や質疑応答への準備・積極性とに基づいて、成績評価を行う。							
ゼミナールの内容を考慮して、報告・発表予定回の授業を1回でも欠席した場合や、報告・発表予定でない回の授業を、1回を超えて欠席した場合には、原則的に単位を修得できない。遅刻は減点対象となる。							
----- Continue to グローバル規範論基礎ゼミナール(2) -----							

## グローバル規範論基礎ゼミナール(2)

### [Textbooks]

取り扱う英語論文は、授業時に事前配布されるか、KULASIS上に事前にアップされる。

### [References, etc.]

( References, etc. )

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

前半では、履修者全員が、英語基本文献を毎回あらかじめ予習しておくよう求められる。また、報告予定者は配布資料を各自で用意する。

後半では、履修者全員が自由テーマ発表の準備を行う。

### [Other information (office hours, etc.)]

履修者には、先端的テーマの主要学説の学習と、実践的問題をめぐる自由討論・自由発表との両方を楽しんでもらえればと思っている。